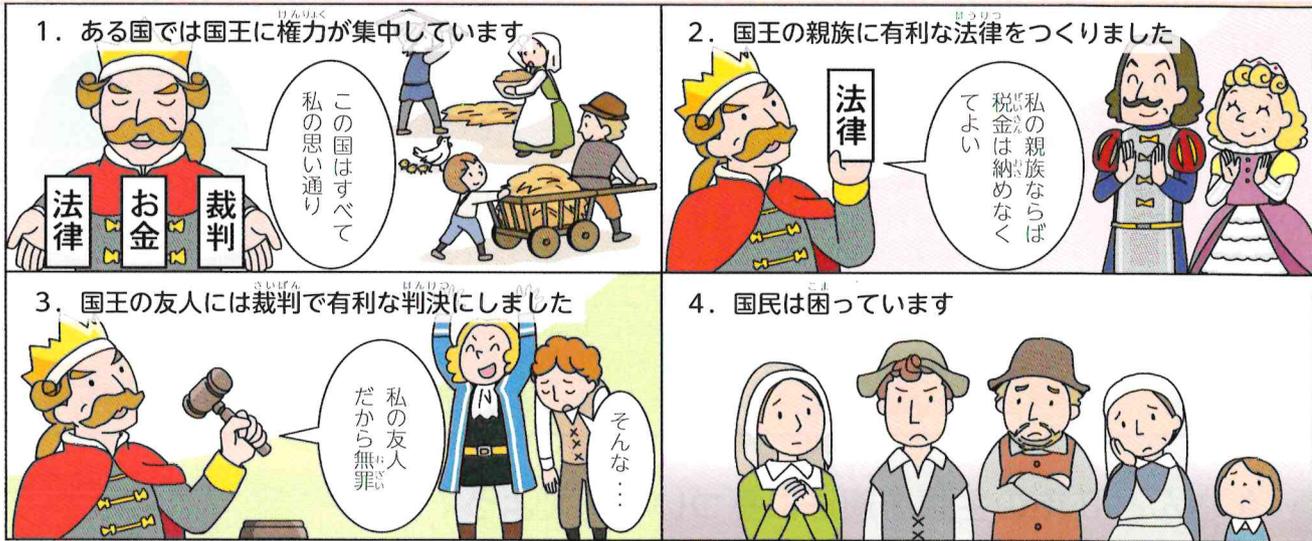




3節の問い 日本国憲法では、なぜ国の統治について規定しているのだろうか。



対話 国王が権力を独占すると、どのような問題が起こるのだろうか。

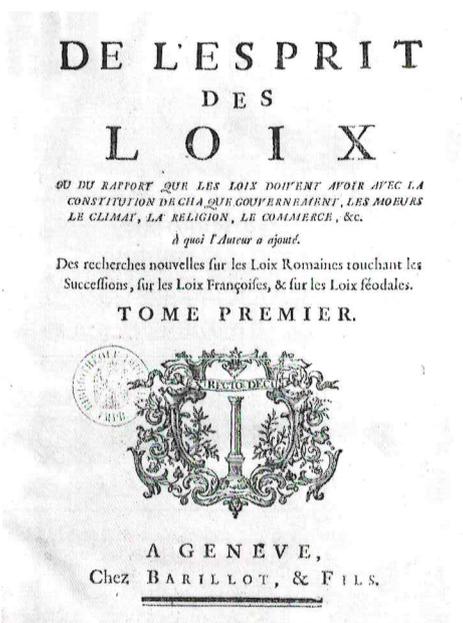
↑1 国王による権力の独占

1 権力の分立



学習課題 立法、行政、司法の三権は、どのようなしくみで抑制し合い、均衡をとっているのだろうか。

① 国会(立法機関)、内閣(行政機関)、裁判所(司法機関)があります。



↑2 『法の精神』 モンテスキューは、『法の精神』のなかで、権力の濫用を防ぐためには、権力の分立が必要だと主張しました。 (小地歴)

国民が授ける権限 国民主権の下では、政治のあり方を最終的に決定するのは国民です。しかし、法律をつくったり、裁判をしたりといった、国家が権力を使うすべての場面で、国民が意思を表明するために、国民投票をするのは非現実的です。

そこで、あらかじめ国民の意思を憲法に示し、憲法にのっとって権限を使わせることにしました。憲法は、特定の人や組織に、決められた手続に従って国家権力を使う権限を授けています。このような権限を授けられた人や組織のことを、国家機関といいます。国家機関は、憲法で与えられた権限のみを、憲法の定める手続に従って使うことで、主権者である国民の意思に従ったことになります。

権力分立による権力抑制 国家権力を一つの機関が独占すると、権力の濫用を防げません。例えば、国王が権力を独占していたら、国王の親族に有利になるような、不公正な法律が制定されたり、裁判が行われたりしても、正す方法がありません。そこで、権力を分割し、別々の機関に担当させる工夫が必要になります。

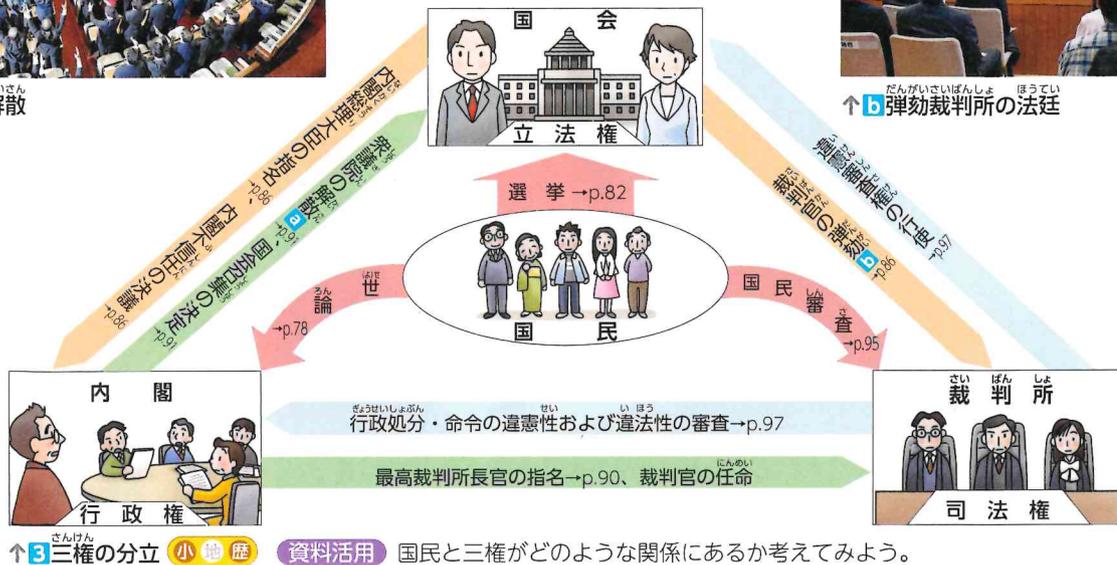
権力を分担した機関は、互いに権力の濫用を抑制し、バランス(均衡)をとることが期待されます。これが、**権力分立**です。



↑ a 衆議院の解散
しゅうぎいん かいざん



↑ b 弾劾裁判所の法廷
だんがいさいばんしょ ほうてい



↑ 3 三権の分立 小地歴 資料活用 国民と三権がどのような関係にあるか考えてみよう。

三権分立の意義

権力分立のなかでも、国家権力を立法・行政・司法の三つに分ける方法を三権分立といいます。日本国憲法は、国会に立法権、内閣に行政権、裁判所に司法権を担わせました。国会・内閣・裁判所は、互いに権力の濫用を抑制し合います。三権分立は権力の暴走を防ぐために重要です。

三権分立は、法の支配の実現には、国民の代表が集まる議会をつくり、法の支配の理念にのっとった立法を行うしくみが必要です。他方で、警察・消防・教育・経済規制などを実行する行政は、議会の定めた法律に基づいて迅速に対応するほかの機関に委ねられます。さらに、権利や義務に関する紛争を裁く司法と行政を同じ機関に委ねたのでは、行政の違法行為を正せなくなります。このため、裁判所は行政から独立させなければなりません。

権力の濫用を防ぐ国民

権力分立のしくみを十分に働かせるには、主権者である国民が、常に監視を続けることが必要です。国民は、不適格な国会議員を選挙で交代させます。また、内閣総理大臣は国会が選びますから、国民は、国会を通じて内閣をコントロールします。さらに、最高裁判所の裁判官の国民審査を行います。権力の濫用を防ぐ最終的な責任は、国民にあるのです。

p.30-31 <学習の前に>を振り返る 警察(B-1)、消防(A-1)、小学校(D-1)

見本										
長	安	渡	草	三	岡	林	堺	宇	岡	深
嶺	浪	逸	野	浦	村	賀	正	卓	山	
安	充	恵	耕	和	道	克	正	卓	山	
政	介	子	一	守	美	晴	徹	也	品	也

↑ 4 国民審査の投票用紙 国民審査は衆議院議員選挙の投票日に行われます(→p.83)。投票用紙には、審査を受ける裁判官の氏名が印刷されています。辞めさせたい裁判官に「×」を記載して投票します。「×」が記載された票が、何も記載されていない票の票数を超えた場合、その裁判官は罷免されます。

資料活用 これまで行われた国民審査で罷免された裁判官の人数を調べてみよう。

✓ 三権分立の意義を、本文から書き確認しよう 出してみよう。

🗨️ 権力分立を働かせるために国民ができることを説明してみよう。



違憲審査とその後

海外に住む日本人(在外邦人)が最高裁判所裁判官の国民審査に投票できない現行の法律について、最高裁判所は、2022年に違憲だとする判決を出しました。

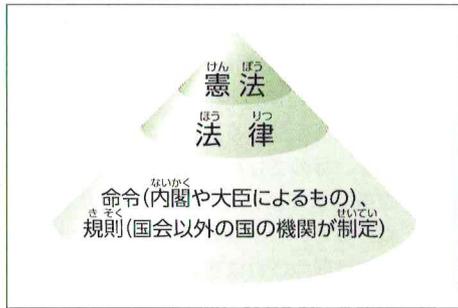
この判決を受けて、国会では在外邦人による国民審査を実施するために必要な法改正が行われました。

←1 最高裁判所の違憲判決を伝える原告団(東京都、2022年)

対話 違憲判決が出たら、どの機関が何をする必要あるのだろうか。

2 憲法の保障・改正と私たち

3節の問い 日本国憲法では、なぜ国の統治について規定しているのだろうか。



↑2 法の構造図 法には種類によって上下関係があり、最上位に憲法があります。下位の法が上位の法に反する場合は無効です。

1 憲法99条では、憲法を尊重し擁護する義務を負う者に国民は含まれていません。これは、国民の権利を守るために憲法によって国家権力の濫用を防ぐという立憲主義(→p.33)の考え方のもと、国家権力を制限しているからです。



学習課題

日本国憲法では、憲法の保障と改正についてどのように定めているのだろうか。

憲法の保障

憲法は国の最高法規であり、憲法に違反する法律などは無効です。そして、国会議員や公務員などは、憲法を尊重し擁護する義務を負っています。

もしも、権力者が憲法違反をした場合、どうすればそれを正せるでしょうか。権力者の憲法違反をやめさせ、憲法を維持することを憲法保障といいます。憲法12条は、「憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない」として、国民が、憲法保障のために絶えず努力することを宣言しています。憲法保障には、主権者である国民が、権力者を監視することが重要です。

違憲審査権

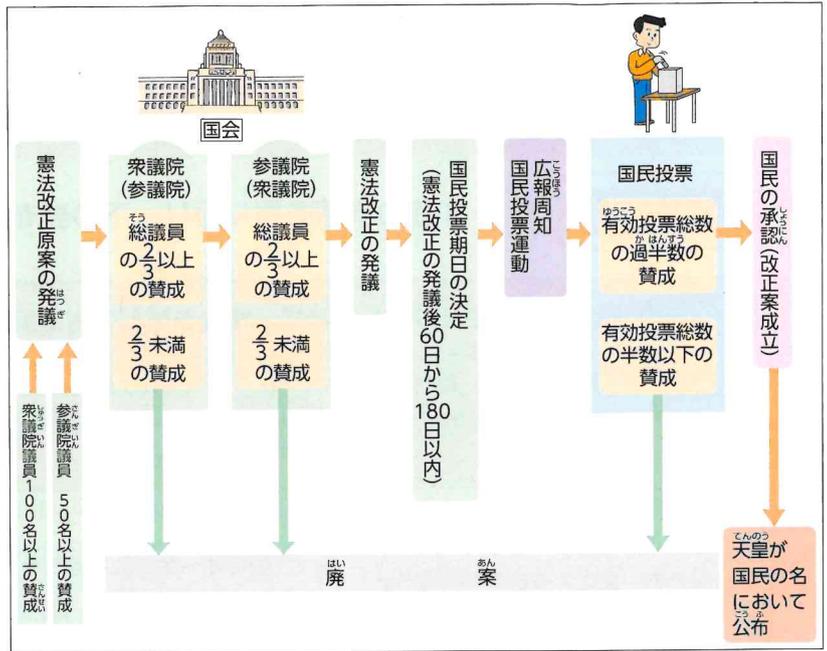
司法による違憲審査も、憲法保障のための重要な制度です。憲法81条は、最高裁判所(最高裁)が、国会のつくる法律や、内閣や各省庁の定める命令などが憲法に違反していないかを審査する違憲審査の最終決定権をもつと規定しています。このため、最高裁は、憲法の番人とよべれます。

例えば、国会議員の選挙について、人口の多い選挙区と少ない選挙区との間で、一票の価値に大きな差が出る問題が生じた際に、最

事例	内容	憲法
尊属殺重罰規定 違憲判決 (1973年)	尊属(両親などの目上の親族)を殺した際に、通常の殺人よりも重い刑を科す刑法の条文は違憲である。	14条 (法の下の平等)
衆議院議員定数 判決 (1976年) (1985年)	一票の格差が5倍近くになり、是正されなかったのは違憲であるが、選挙は無効としない。	14条 44条 (参政権の平等)
在外日本人選挙権 制限違憲訴訟 (2005年)	海外に住む日本人の選挙権を比例代表選挙に限定するのは違憲である。	15条など (選挙権)
婚外子相続格差 違憲決定 (2013年)	民法が婚姻していない男女の子(婚外子)の相続分を、婚姻している男女の子より少なくしているのは違憲である。	14条
性同一性障害 特別法違憲訴訟 (2023年)	性自認に適合させる戸籍などの性別変更に、不妊手術を求める規定は違憲である。	13条
旧優生保護法 違憲訴訟 (2024年)	特定の病気や障がいを理由とした不妊手術を認めていた規定は違憲である。	13条 14条

* 1996年に母体保護法へと改正された際に該当する規定は削除された

↑3 最高裁判所の主な違憲判断



↑4 日本国憲法が改正されるまで

8 最高裁判所は、一票の格差を違憲と判断し、国会に是正を求めてきました。

憲法の改正

日本国憲法は、国際的に見ても、人権条項や民主主義、権力分立のための規定が充実した憲法ですが、国民が、憲法の内容を改めたいと考えることもあるで

9 しょう。そこで、憲法 96 条に、改正の手続が定められています。

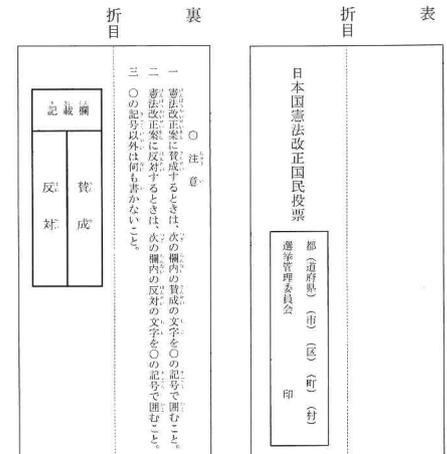
国民主権の下では、憲法改正には、国民の承認が必要です。そこで、憲法 96 条は、憲法改正には各議院(衆議院と参議院)の総議員の 3 分の 2 以上の賛成による国会の発議と、国民投票で過半数の賛成が必要だと定めています。2007 年に制定された憲法改正国民投票法で具体的な手続が定められ、投票年齢は 18 歳以上とされました。

10 憲法 96 条の定める手続は、憲法をゼロから創設したり、破壊したりする手続ではなく、あくまで現在の憲法の改正手続ですから、現在の憲法の基本原理を受け継いだものでなければなりません。このため、国民主権の原理の変更、再び戦争を引き起こす国になること、人権保障・権力分立を廃止して立憲主義をやめることなどの憲法改正は許されないと解釈されています。

15 国民主権、平和主義、人権保障の精神を新しい世代に受け継いでいくには、何をすべきでしょうか。そのために憲法改正が必要なのか。主権者である国民は、それぞれに、考えていくことが大切です。

解説 憲法改正国民投票法

この法律では、憲法改正のための国民投票に関する手続が定められています。投票は、国民投票に係る憲法改正案ごとに、1人1票になります。投票用紙に印刷された賛成または反対の文字を○で囲んで投票します。



↑5 憲法改正国民投票の投票用紙

確認しよう 日本国憲法の改正の発議に必要な条件を、本文から書き出してみよう。

説明しよう 憲法保障のために国民ができることを説明してみよう。



節の振り返り

1~3節の学習を振り返り、下の表を参考に節の問いをまとめよう

知識

思考・判断・表現

1章の問い 民主的な社会をつくるために、私たちはどのように憲法をとらえ、考えていくべきなのだろうか。			
	<p>1節の問い 民主社会では、なぜ法に基づく政治が大切なのだろうか。 p.32~43</p>	<p>2節の問い 日本国憲法では、なぜ基本的人権が保障されているのだろうか。 p.44~65</p>	<p>3節の問い 日本国憲法では、なぜ国の統治について規定しているのだろうか。 p.66~69</p>
① 図で知識を整理する	<p>●憲法と国家・国民の関係 (→ p.33)</p> <p>図のア~エに入る語句を選ぼう。 (国民、憲法、国家権力、国家)</p>	<p>●基本的人権の構成 (→ p.45)</p> <p>図のオ~ケに入る語句を選ぼう。 (社会権、平等権、個人の尊重、自由権、参政権など)</p>	<p>●三権の分立 (→ p.67)</p> <p>図のコ~シに入る語句を選ぼう。 (立法、行政、司法)</p>
	② 図で問いを考える	<p>主張 民主社会では、法に基づく政治が大切である。</p> <p>理由① 歴史上、人の支配で多くの人が苦しんだ。</p> <p>理由②</p> <p>理由③</p> <p>歴史で学習した時代では、どのような政治が行われていたかな。</p>	<p>主張 日本国憲法では、基本的人権が保障されている。</p> <p>理由① 個人の尊重が大切である。</p> <p>理由②</p> <p>理由③</p> <p>p.30~31「学習の前に」のイラストで見つけた課題や個人の尊重の考え方を活用してみよう。</p>
③ 問いをまとめる	<p>②で考えた図を参考に、「国家」をキーワードにして、節の問いの答えをまとめよう。</p>	<p>②で考えた図を参考に、「個人の尊重」「国家権力」をキーワードにして、節の問いの答えをまとめよう。</p>	<p>②で考えた図を参考に、「権力分立」をキーワードにして、節の問いの答えをまとめよう。</p>



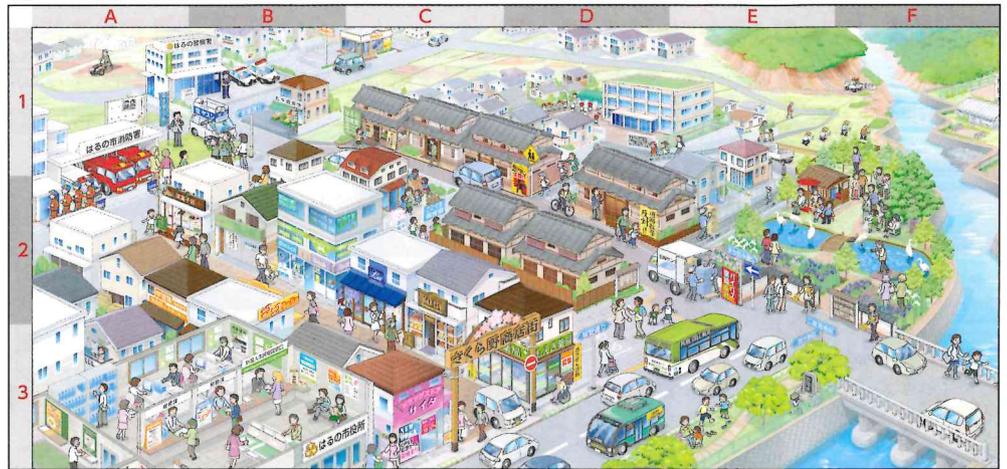
1 「学習の前に」を振り返ろう。 p.30-31 <学習の前に>を振り返る



自分だけでなく、みんなにとって暮らしやすいまちになっているか考えるとよさそうだ。



いろんな場面があるけど、今までの学習とどのように関係しているのかな。



- (1) p.30~31 TRY2 を振り返り、改めてイラストから困っている人や課題がある場面を探して、その具体的な内容を右の表の①、②にまとめてみよう。
- (2) イラストから権利が保障されている人や場面を探して、その具体的な内容を右の表の①、②にまとめてみよう。
- (3) 章の学習を踏まえて、(1)、(2)で見つけた内容が関係する日本国憲法の条数を各表の③にまとめてみよう。
- (4) 対話 (3) で作成した表を周りの人と持ち寄って、意見交換をしてみよう。

①困っている人や課題がある場面	②内容	③日本国憲法との関わり
例) C2	前を歩く人のたばこの煙がかかる	13条
①権利が保障されている人や場面	②内容	③日本国憲法との関わり
例) D1	義務教育を受けられる	26条

2 節の振り返りや1を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。

1章の問い

民主的な社会をつくるために、私たちはどのように憲法をとらえ、考えていくべきなのだろうか。

ステップ1

私は、憲法とは _____ (A)

であると考え。

ステップ2

民主的な社会をつくるために、私たちは _____ (B)

していくべきである。

ステップ1

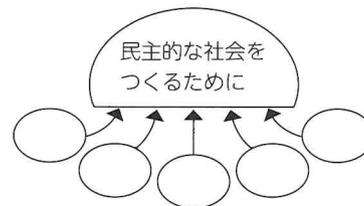
(1) 下線部(A)を考えよう。

見方・考え方

個人の尊重と法の支配は、憲法とどのように関わっているだろうか。

ステップ2

(1) 下線部(B)について、クラゲチャートを用いてアイデアを出そう。その際、p.43 TRY2 も参考にしてみよう。



思考ツール 巻頭9

(2) 対話 (1) について、周りの人と意見交換をしながら、下線部(B)をまとめよう。



1 章の学習を振り返って、気になった学習内容や事例を挙げよう。

観点1 エスディーズ SDGsの17の目標から振り返ろう

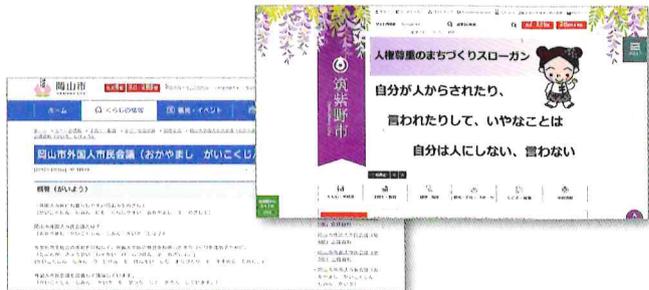
(1) SDGsの17の目標から、章で学習した内容と特に関連が深いと考える目標を挙げて、下の表で整理しよう。



SDGsの目標	関連が深い学習内容や事例
例) 3 すべての人に健康と福祉を	<ul style="list-style-type: none"> ・社会権 ・教育を受ける権利 ・平等権
例) 4 質の高い教育をみんなに	
例) 5 ジェンダー平等を実現しよう	

観点2 自分の住む地域の視点で振り返ろう

(2) 地方公共団体の広報誌やウェブサイトから、章で学習した内容と特に関連が深い事例を挙げて、下の表で整理しよう。



地域の問題	関連が深い学習内容や事例
例) 市議会における女性議員の割合が低い	<ul style="list-style-type: none"> ・平等権、政治分野の男女共同参画推進法の制定 ・児童(子ども)の権利に関する条約 ・子どもの人権を守る制度や支援の充実
例) ヤングケアラーの増加	

2 対話 1で整理したことを周りの人と持ち寄って、探究したいテーマを表にまとめよう。

夫婦別氏の是非について探究したい。	公共の福祉のあり方について探究したい。	
今後、憲法で認められるべき人権を探究したい。	死刑制度の是非について探究したい。	

この章のなかから選んだテーマ	探究するためにさらに調べたいこと
例) 夫婦別氏の是非	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の事例 ・裁判所の判決

探究するテーマについて、先生や家族など周りの大人にもアドバイスをもらってみましょう。



- 章の重要単語
- 民主主義 (p.33)
 - 立憲主義 (p.33)
 - 基本的人権 (p.34)
 - 法の支配 (p.35)
 - 大日本帝国憲法 (p.36)
 - 日本国憲法 (p.37)
 - 国民主権 (p.38)
 - 平和主義 (p.40)
 - 個人の尊重 (p.44)
 - 法の下に平等 (p.45)
 - 自由権 (p.46)
 - 精神活動の自由 (p.46)
 - 平等権 (p.48)
 - 社会権 (p.54)
 - 公共の福祉 (p.62)
 - 権力分立 (p.66)
 - 憲法保障 (p.68)
- ▶▶ QR 一問一答で確認しよう

- 振り返り
- 節の問い：学習を通して考えをまとめることが
 - よくできた できた あまりできなかった
 - 章の問い：学習を通して考えをまとめることが
 - よくできた できた あまりできなかった
 - 章の学習を通して特に重要だと思ったこと
 - 課題探究学習のテーマ案



未来に向けて

多様性を認め合う社会へ

QR他分野リンク

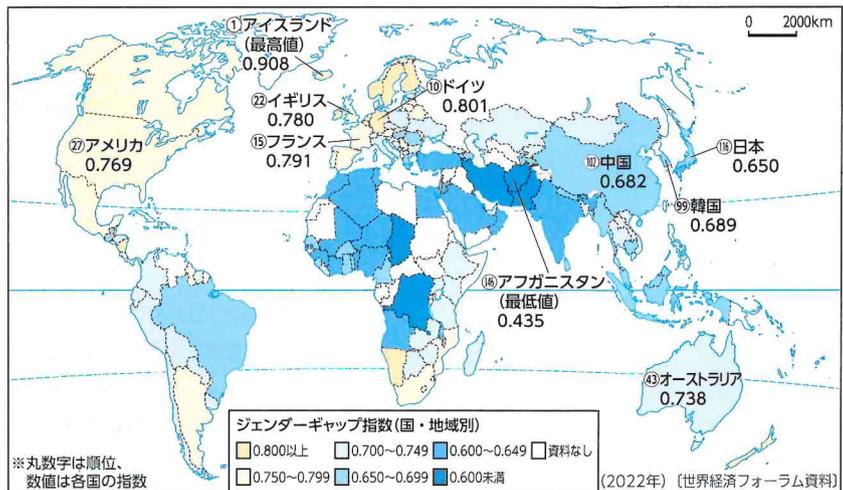
人権・多文化



① ジェンダーギャップ指数

SDGs(→巻頭1~2, p.5, 190)の目標5に掲げられている「ジェンダー平等を実現しよう」では、ジェンダー(生物学的な性差に対して、社会的につくられた性差のこと)の平等を達成し、すべての女性の平等と女児の可能性の可能性を伸ばすことが目指されています。

世界の男女格差を測る指標としてジェンダーギャップ指数があります。これは、「経済」「政治」「教育」「健康」の四つの観点で構成され、数値が1に近づくほど平等が達成されていることを表しています。日本は先進国のなかで最低レベルにあり、特に「経済」「政治」における順位が低くなっています。



↑①ジェンダーギャップ指数 地図帳活用

② 「ちがいを ちからに変える街。渋谷区」(東京都渋谷区)

渋谷区はファッションに代表される若者文化の発信地として、国内外から多様な文化や人々を受け入れて発展してきました。渋谷区は、成熟した国際都市としてさらに進化・成長するため、「多様性を受け入れるだけでなく(ダイバーシティ)、まちづくりの原動力とする(インクルージョン)ことで、区民が誇りをもって暮らせるまちづくり」を目指しています。

渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例では、男女の人権の尊重と、LGBTQ+(→p.49)といった性的少数者の人権の尊重を掲げています。例えば、「男性は仕事、女性は家庭」のような性別による役割分担の意識を見直して、男女ともに不利益を受けないような社会にする取り組みを行っています。また、条件を満たす同性どうしのカップルを、婚姻と異なる実質を備えたパートナーどうしとして区が証明しています(渋谷区パートナーシップ証明)。この条例は、日本で公的に同性カップルを認めたものとして、世田谷区パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱とともに注目されました。今では250以上の地方公共団体で同様の制度が導入されています(→p.49)。



↑②レインボー・アイリス 渋谷区の花であるハナショウブに、性の多様性を祝福する6色のレインボーをあしらったマークです。区はこのマークを用いたグッズを配布し、性的少数者も安心して暮らせる社会づくりを推進しています。

NEXT2030 へのヒント

2030年のSDGs達成とその先を目指して



日本のジェンダーギャップ指数は世界のなかでも低い水準にあります。SDGsでもジェンダー平等の実現が求められている今、この状況をあなたはどのように考えるでしょうか。

東京都渋谷区では、まちづくりの理念にダイバーシティ(→p.51)とインクルージョン(→p.51)を掲げています。人種、国籍、性別、年齢、信仰の違い、障がいの有無など、互いの多様性を認め合い、個人の尊重が実現され、それぞれの能力を生かせる持続可能な社会にしていくために、私たちはどのようなことをしていくべきか考えてみましょう。